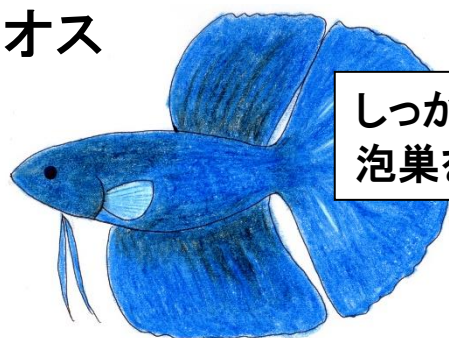


ベタの繁殖を楽しもう

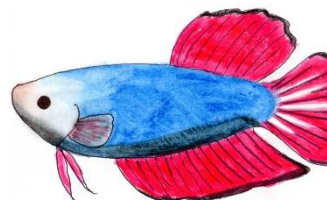
繁殖OKなベタの見分け

オス



しっかり育っている
泡巣をつくっている

メス



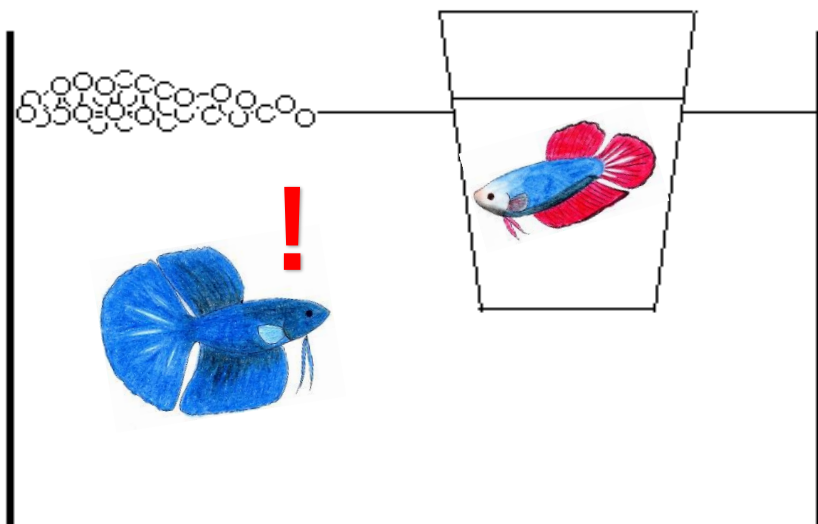
しっかり育っている
お腹に卵がある
(膨らんでいる)

必要なもの(あるといいもの)

- ・30~45cmの水槽
- ・インフゾリアのもと
- ・ヒーター
- ・ブラインシュリンプふ化器
- ・フィルター
- ・ブラインシュリンプエッグ
- ・水替え用品
- ・人工飼料

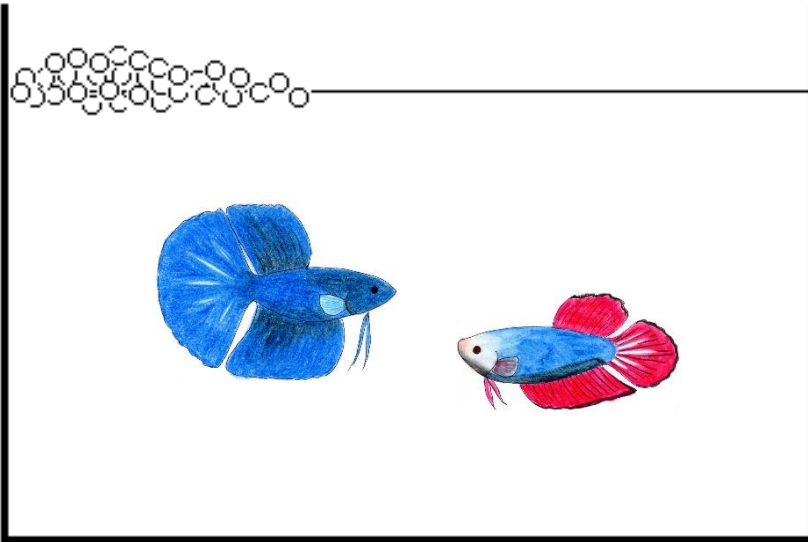
まずはお見合いから！！

ベタのオスとメスにも相性があります。いきなり一緒の水槽に入れるのではなく、容器越しにお見合いさせます。コップにメスを入れてオスのいる水槽に浮かべ、オスの反応を見ます。



タックルなど攻撃的な行動がずっと続くようならあまり相性は良くないかも・・・??

一緒の水槽に入れてみる



最初は必ずと言っていいほど、片方がもう片方を追っかけまわします。ここからの相性の良し悪しは、ヒレのボロボロ加減や元気の有無で判断します。相性と発情のタイミングが合えば、一緒にした日に

産卵するペアもいます。長く一緒にしていれば良いというわけではないので、相性が悪そうであれば一度中止して期間を置るか、別のメスでチャレンジしてみましょう。

ベタの繁殖行動

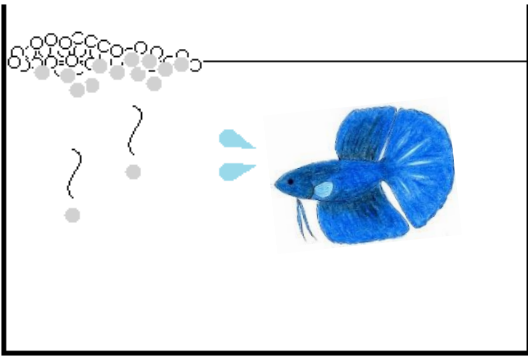
オスがメスの体にぐるっと巻き付くようにして抱え、数秒間そのまま停止後、受精した卵が産み落とされます。

そのあとすぐベタのオスは底に落ちた卵を拾い集め、自分がつくった泡巣にくっつけにいきます。その間メスは気絶したようにプカーっと動きませんが、またすぐに動き出しますので安心して下さい！この行動は1回だけでなく、メスがお腹に持っている卵を産みきるまで何度も繰り返されます。

産卵が終わると、オスは卵を守ろうとしてメスを攻撃するようになります。メスも卵を食べてしまう可能性が高いので、そうなったらメスだけそっと取り出してトリートメントしてあげましょう。

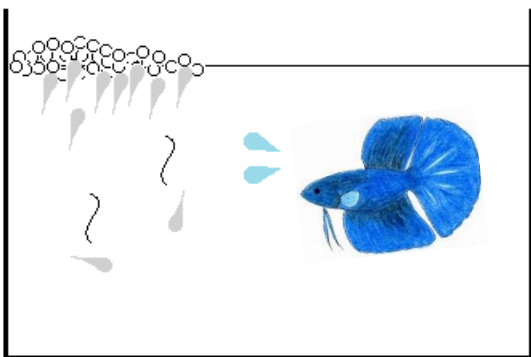
(取り出すときに泡巣が壊れないように注意！！)

オスによる子育て



ベタのオスは、卵が泡巣から落ちこちたら拾って戻す、を繰り返します。この時オスがいないと酸素供給もうまくいかず卵にカビが生えてしまうこともあります。

稚魚のふ化



およそ2~3日で稚魚が卵からふ化します。ふ化してもしばらくは泳ぐ力がないので、お父さんベタの子育てはまだ続きます！隔離はしないでください。稚魚は泡巣に頭をくっつけるようにしてぶらさがります。

自力で泳ぎ始める

ふ化してから大体2~3日後には稚魚たちは自力で泳ぎ始めます。そうなったらお父さんベタの子育ては終了です！お疲れ様！暴れないように気を付けて取り出し、必要ならトリートメントしてあげましょう。



ベタの稚魚は本当に小さくて繊細です！
丁寧に取り扱い
あげましょう♪

稚魚を育てよう！！

ベタの稚魚はと一っつても小さいので、ベビーフードやブラインシュリンプも最初は食べられません。なので、もっと細かいインフゾリアを沸かせてエサにします(インフゾリアとは、動物性プランクトンの総称です)。「インフゾリアのもと」を使うと簡単です。粉状のインフゾリアのもとを水面に軽く広がる程度まいたら、約2日後にはプランクトンが沸きます。(稚魚が自力で泳ぎだすのと同時に捕食が始まるので、稚魚が卵からふ化した時点でインフゾリアのもとをまいておきましょう。)



少し成長したら、ブラインシュリンプを沸かしてあげましょう。



1か月半経った頃には、人工飼料を食べる子がでてきます。体格に差が出てくると追っかけが始まるので、大きくなった子から順に1匹ずつ別容器に移して育てましょう。まだ人工飼料を食べられない子には引き続きブラインシュリンプを沸かしてあげましょう！



インフゾリアのもと



ブラインシュリンプエッグ



ベビーフード



ベタのエサ

- ・エサは1日1回ではなく、少量をこまめに与えよう！！
- ・水質の変化やPHの低下に弱いので注意！！
- ・追いかけて回しや喧嘩が始まったら隔離しよう！！